

講演規程

●発表方法

招待講演・第11回松山賞受賞講演・第5回若手奨励賞受賞講演・シンポジウム・ミニシンポジウム・コ・メディカルのための教育セミナー、一般講演（口演）

※基本は、現地発表・登壇でお願いいたします。

会場発表

講演開始 60 分前までに、PC 受付にて動作確認を行い、発表データの提出を行ってください。

PC 受付

場所：富山国際会議場 2F ホワイエ

時間：7月16日（土） 8:15～17:40

7月17日（日） 8:10～15:45

リモート発表

事務局よりご案内した Zoom URL より、指定時間にご入室をお願いいたします。

セッションが開始しましたら、ご自身で発表スライドを共有し発表をしてください。

発表終了後、音声による質疑応答を行っていただきます。

講演時間

指定演題（一般講演以外）：セッション毎に発表時間が異なりますので、事務局からのご案内をご参照ください。

一般講演（口演）：発表時間は7分、質疑応答が3分です。

講演・討論時間を含めて1演題10分です。時間厳守でお願いします。

現地では計時回線にてお知らせ（6分：予告ランプ、7分：終了時赤ランプ）します。

●進 行

- ① 講演者は、座長（オーガナイザー）の指示のもと、講演を行ってください。
- ② 講演者は、セッション開始30分前までに会場内最前列の次演者席にお着きください。
- ③ 座長（オーガナイザー）は、セッション開始20分前までに会場内最前列の次座長席にお着きください。
- ④ 座長（オーガナイザー）は、開始の合図が入り次第登壇し、セッションを開始してください。
- ⑤ 時間厳守にご協力ください。

※リモート登壇になる座長・演者の先生方は、事務局からのご案内メールをご確認ください。

【メディア持込の場合（Windowsのみ）】

- ① 会場で使用するPCのOSはWindows10で、データ形式は、PowerPoint2010/2013/2019となります。
なおMacintoshをご希望の場合は、PC本体を持ちこみいただければ、対応いたします。
- ② 発表用データを、CD-RまたはUSBフラッシュメモリーに保存してお持ちください。また、保存いただく際には、発表データのファイル名は「(演題番号) (氏名)」としてください。
[例] O-1 眼循 太郎
- ③ 発表データは以下のものでご作成ください。
[Windows版PowerPoint2010/2013/2019]
※Macintosh版PowerPointでの作成は、映像に支障をきたしますので、ご遠慮ください。
- ④ フォントはOSに標準で装備されているものでお願いいたします。画面レイアウトのバランス異常や文字化けを防ぐためにフォントは「MS (MSP) ゴシック」、「MS (MSP) 明朝」、「Times New Roman」、「Century」をご利用ください。
- ⑤ 画面の解像度はフルHD（1920×1080ピクセル）です。会場プロジェクターのリアル解像度がフルHDになっていますので、最適な画質が得られます。
- ⑥ 動画（PowerPointのアニメーション機能除く）や音声は利用できません。
動画データを使用の場合は、ご自身のPCをお持ちください。

⑦ 発表データは、会場内の PC に一旦コピーさせていただきますが、学会終了後に事務局が責任を持って消去いたします。

⑧ 発表データ保存媒体の返却

発表終了後のデータ保存媒体は会場にて返却いたします。

【PC 本体持込の場合 (Macintosh・Windows 動画使用)】

① PC (Macintosh・Windows の動画使用の場合) はご自身でご準備ください。

② お持込みいただきます PC は一般的な外部出力端子 HDMI タイプ A (通常サイズ) または、D-sub 15pin のモニター出力端子が必要となります。

この端子が無い PC をお持込みいただく場合には、別途変換コネクタを必ずご用意ください。

③ 動画ならびに画像の制限はありませんが、事前に再生できることをご確認ください。本体の液晶画面に動画ならびに画像が表示されても、実際に外部出力されない場合があります。発表データを作成された PC とお持込みいただく PC が別の場合はご注意ください。

④ 音声の利用はできません。

⑤ スクリーンセーバーならびに省電力設定は予め解除してください。

⑥ 必ず電源ケーブルはお持ちください。バッテリーでのご発表はバッテリー切れとなることがあります。

⑦ 会場にて用意したプロジェクターと接続ができない場合に備え、バックアップ用のデータ (CD-R 又は USB フラッシュメモリー) をご用意ください。

⑧ PC の返却

発表終了後の PC は会場内「PC オペレーター席」にて返却を行います。

●利益相反 (conflict of interest) について

共催セミナーを含むすべての発表に関し、講演時の 2 枚目のスライドまたはポスター末尾において利益相反を公表してください。演者全員が利益相反公表基準に該当しない場合は、「利益相反公表基準に該当なし」と記載してください。該当ありの場合には、各演者名に続きカテゴリーと企業名〔ただし、カテゴリー P (特許権を有する、または申請中の場合) では企業名の記載は必要ありません〕を明示してください。

記載例：眼循太郎：【F】 ○○製薬、【I】 ▲▲工業

眼循花子：【P】

なお、2015 年 10 月 21 日に「日本眼科学会利益相反に関する基準」が改正され、当該の発表内容に関するか否かにかかわらず、過去 3 年間の利益相反を公表の対象とすることとなりました。

利益相反に関する詳細については、日本眼科学会ホームページ内の倫理委員会のページ「日本眼科学会利益相反に関する基準 (<https://www.nichigan.or.jp/Portals/0/resources/about/conflict.pdf>)」にてご確認ください。